

※Windows Server 2003 R2 についての対応状況をまとめました。

## ■ 対象製品

- DeploymentManager 4.1 Standard Edition (以下SE)
- DeploymentManager 4.1 Enterprise Edition (以下EE)
- DeploymentManager 4.0 Standard Edition (以下SE)
- DeploymentManager 3.8 Standard Edition (以下SE)
- DeploymentManager 3.8 Enterprise Edition (以下EE)

※上記製品につきましては、画面上の表記について「Windows Server 2003 Service Pack 1」を「Windows Server 2003 R2」と読みかえることで対応しています。

※上記以降の製品に関しましては、ソフトウェア添付のユーザーズガイドをご参照ください。

## ■ 対象OS

- Windows Server 2003 R2, Standard Edition
- Windows Server 2003 R2, Enterprise Edition
- Windows Server 2003 R2, Standard x64 Edition
- Windows Server 2003 R2, Enterprise x64 Edition

## ■ 起こりうる問題

「DeploymentManager 3.8SE/3.8EE/4.0SE/4.1SE/4.1EE」

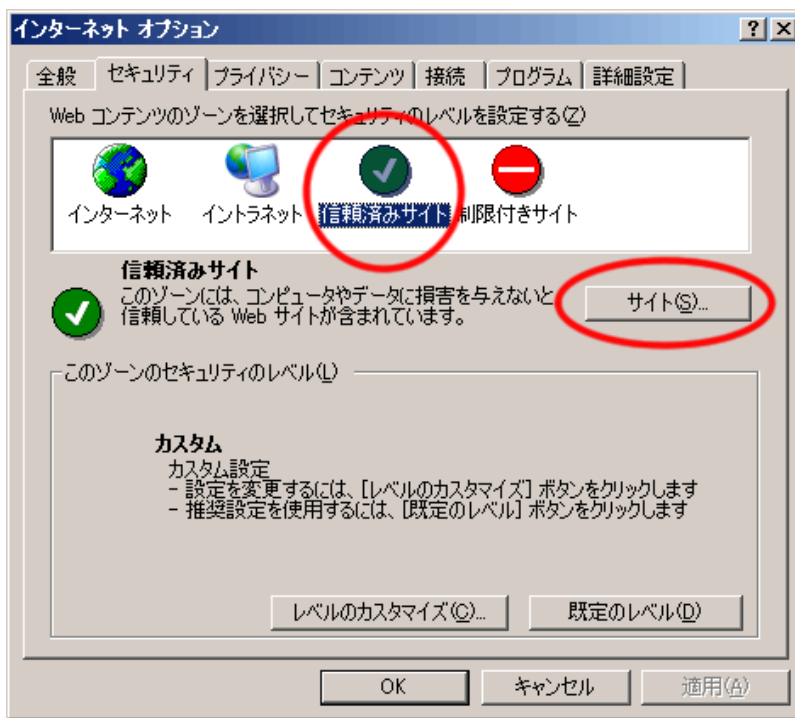
1. Webコンソールを起動しようとする、「Internet Explorerのセキュリティ強化の構成によってブロックされています」というメッセージ画面が表示され、Webコンソール画面を起動することが出来ない。  
✦ [対応方法:「信頼済サイトへ登録する」](#)
2. Webコンソールを起動しようとする、一瞬でウィンドウがクローズされてしまう。  
✦ [対応方法:「ポップアップブロックを無効に設定」](#)
3. OS情報に「Windows Server 2003 R2」と表示されない。  
✦ [対応方法:「OS情報を読み替える」](#)
4. OSクリアインストール後に、R2のセットアップ続行ダイアログが表示されない。  
✦ [対応方法:「R2のセットアップを続行する」](#)
5. ディスク複製によるOSセットアップの際に、マスタコンピュータでSysprepコマンドを実行すると「Windows セキュリティの重要な警告」ダイアログが表示され「Microsoft Remote Desktop Help Session Manager」の通信がブロックされていると通知される場合がある。  
✦ [対応方法:「問題ないため続行する」](#)
6. Windows Server 2003 と Windows Server 2003 R2の混在環境でディスク複製を行うとプロダクトキーが適用されない場合がある。  
✦ [対応方法:「コンバートツールを実施する」](#)

## ■ 対応方法

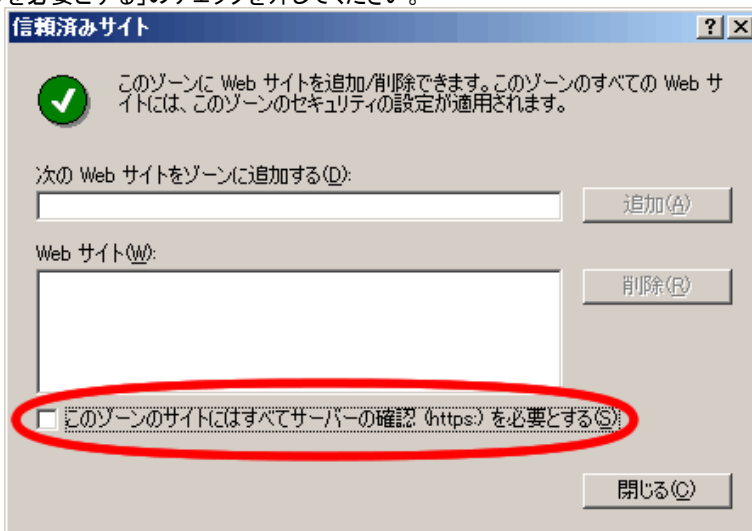
Windows Server 2003 R2に関する問題点を回避するには下記の手順をご覧ください。

### ■ 信頼済サイトへの登録

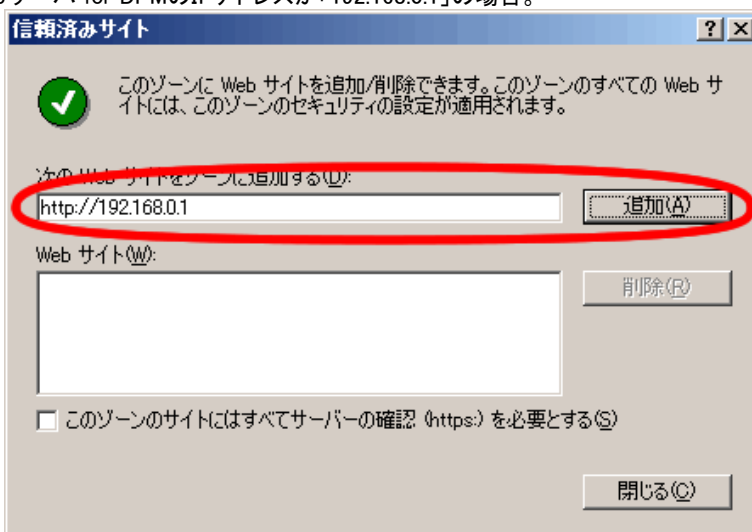
1. 「スタート」メニュー→「コントロールパネル」→「インターネットオプション」をクリックします。「インターネットのプロパティ」画面が表示されますので、「セキュリティ」タブをクリックし、「信頼済みサイト」にフォーカスをあてた状態で「サイト」をクリックします。



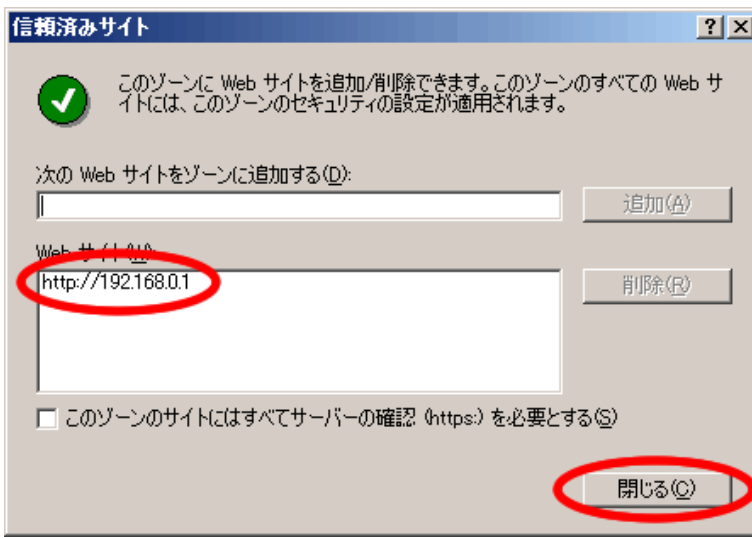
2. 「信頼済みサイト」画面が表示されますので、「このゾーンのサイトにはすべてサーバの確認 (https:)を必要とする」のチェックを外してください。



3. 「次のWebサイトをゾーン追加する」項目にWebサーバ for DPMのIPアドレスまたはコンピュータ名を追加し「追加」をクリックします。  
(例)Webサーバ for DPMのIPアドレスが「192.168.0.1」の場合。

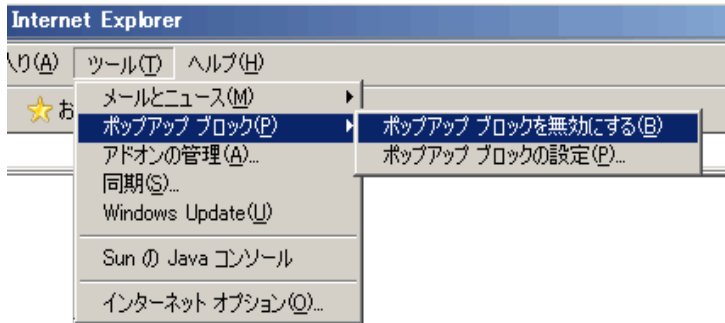


4. 「Webサイト」欄に追加されたのを確認して「閉じる」をクリックしてください。



## ■ ポップアップブロックを無効に設定

インターネットエクスプローラの「ツール」メニュー→「ポップアップブロック」→「ポップアップブロックを無効にする」を選択してください。



※管理サーバ、管理対象コンピュータ等の場合問題ございません。

## ■ OS情報を読み替える

「Windows Server 2003 Service Pack 1」を「Windows Server 2003 R2」と読みかえて処理を行ってください。

## ■ R2のセットアップを続行する

以下のいずれかの手順にてWindows Server 2003 R2の2枚目CD-ROMのセットアップを行ってください。

1. 対象コンピュータのCD-ROMドライブにWindows Server 2003 R2の2枚目CD-ROMを挿入し、表示されたダイアログに従ってセットアップを続行する。
2. Windows Server 2003 R2の2枚目CD-ROMをアプリケーションとしてパッケージ登録し、管理対象コンピュータに配信する。  
Windows Server 2003 R2の2枚目CD-ROMの登録]  
以下の設定でパッケージを作成してください。
  - 「基本」タブ  
タイプ: アプリケーション
  - 「実行設定」タブ  
実行ファイル: CDドライブ: %COMPONENTS%\R2\SETUP2.EXE  
セットアップパラメータ: /q /a
  - 「対応言語とOS」タブ  
OS: Windows Server 2003  
言語: 適用するOS言語  
ベースとなる サービスパック: Windows Server 2003 Service Pack1

- Windows Server 2003 R2の2枚目CD-ROMをアプリケーションとしてパッケージ登録し、1つのシナリオでWindows OSクリアインストールとアプリケーションの適用を指定し、実行する。

#### ■ 問題ないため続行する

ダイアログが表示されますが、しばらくすると自動的に続行されます。  
ディスク複製作業に問題はありませのでそのまま続行してください。

#### ■ コンバートツールを実施する

Windows Server 2003 と Windows Server 2003 R2の混在環境でディスク複製を行う場合は、「マスタイメージの配布」前にコンバートツールを実行する必要があります。  
以降の手順にてコンバートツールを実行後、マスタイメージの配布を行ってください。

#### 【コンバート実行手順】

- 「スタート」メニュー→「プログラム」→「DeploymentManager」→「DPMコンバートツール」をクリックし、DPMコンバートツールを起動させてください
- ディスク複製機能にて配布するOSのCD-ROMを挿入してコンバートツールを実施してください。
- コンバートが全て終わると、「<Windows Server 2003 XXXX Edition>に対応するコンバートが必要なファイルは存在しませんでした。」と表示されます。
- DPMコンバートツールを終了させてください。
- マスタイメージの配布を実施してください。

#### ■ Windows Server 2003 R2適用環境でファイアウォールを有効にした場合

DeploymentManagerで使用するポートをあける必要があります。(下記表参照)

#### ■ 管理サーバ

名前	ポート番号	プロトコル	DPM 4.0以降	DPM 3.8
DeploymentManager(UDP67)	67	UDP	○	○
DeploymentManager(UDP69)	69	UDP	○	○
DeploymentManager(UDP137)	137	UDP	○	○
DeploymentManager(TCP137)	137	TCP	○	○
DeploymentManager(UDP138)	138	UDP	○	○
DeploymentManager(TCP138)	138	TCP	○	○
DeploymentManager(UDP139)	139	UDP	○	○
DeploymentManager(TCP139)	139	TCP	○	○
DeploymentManager(UDP445)	445	UDP	○	○
DeploymentManager(TCP445)	445	TCP	○	○
DeploymentManager(UDP4011)	4011	UDP	○	○
DeploymentManager(TCP56011)	56011	TCP	○	○
DeploymentManager(TCP56020)	56020	TCP	○	○
DeploymentManager(TCP56022)	56022	TCP	○	○
DeploymentManager(TCP56023)	56023	TCP	○	○
DeploymentManager(TCP56024)	56024	TCP	○	○
DeploymentManager(TCP56030)	56030	TCP	○	○
DeploymentManager(UDP56040)	56040	UDP	○	○
DeploymentManager(TCP56050)	56050	TCP	○	○

DeploymentManager(TCP56060)※	56060	TCP	○	-
------------------------------	-------	-----	---	---

※DHCPサーバを設置しない運用を行う場合に設定が必要です。

#### ■ Webサーバ for DPM

名前	ポート番号	プロトコル
DeploymentManager(TCP8080)	8080	TCP

#### ■ NFSサーバ

名前	ポート番号	プロトコル
DeploymentManager(TCP111)	111	TCP
DeploymentManager(UDP111)	111	UDP
DeploymentManager(TCP1048)	※1048	TCP
DeploymentManager(UDP1048)	※1048	UDP
DeploymentManager(TCP2049)	2049	TCP
DeploymentManager(UDP2049)	2049	UDP

※このポート番号は動的に変更される場合があります。もし通信に失敗する場合は、"rpcinfo -p" コマンドでmountd(NFS mount daemon)サービスが使用するポート番を確認し、そのポートを開放するようにしてください。  
この方法によっても改善されない場合は、Windows ファイアウォールの設定を無効にしてください。

#### ■ DPMで管理するコンピュータ

名前	ポート番号	プロトコル
DeploymentManager(UDP137)	※137	UDP
DeploymentManager(TCP56000)	56000	TCP
DeploymentManager(UDP56001)	56001	UDP
DeploymentManager(TCP56010)	56010	TCP
DeploymentManager(TCP56025)	56025	TCP

※上記ポートに関する詳細につきましては、各製品のユーザーズガイドをご参照ください。